会　議　録

1　会議名	第４回南砺市協働のまちづくり推進会議
2　議題（公開）	１．分科会に分かれて意見交換と課題の取りまとめ
3　開催日時	平成２７年５月２２日（金） 開会時間：午後７時／閉会時間：午後９時００分
4　開催場所	南砺市協働のまちづくり支援センター
5　会議出席者	［委員：出席１６名／全２０名］　※５０音順 磯辺文雄、今川浩美、上坂正治、江田　攻、江田久嗣、沖田光弘、長田正勝、河合朱希代、栗山芳雄、齋藤よし子、名村桂子、能登貴史、林　則雄、堀　豊次、森川武雄、安居時美 ※欠席委員：、武田勇人、武田和一、冨井義輝、法邑千映子、 ［市：出席２名］ 事務局 市民協働課長　宮崎博好 〃　市民協働係長　水口浩巳
6　傍聴者	なし
9　会議記録 分科会に分かれて意見交換課題の取りまとめ	【A グループ】発表内容 ①周知（パブコメ・傍聴） 〇やること！ ・ パブコメの書き方勉強会（ちょっとだけ勉強会などで） ・ まちづくり条例（知ったら得） ・ 条例の周知 ・ 市民しらなくても不都合がない ・ 知ってた方が得 ・ 議員さんと推進会議とで意見交換の場を 〇提案　（協働すると市民が嬉しい仕組みづくり） ・ 議会、委員会の傍聴で（感想）を言う機会を！！ ・ 議会、委員会傍聴やパブコメ、意見募集すると、スタンプ（ポイント）がもらえ、いいことがあるぞ！ ・ 議員さんとこんな話がしたいなァ… ②職員関係 ・ 市民の巻き込みがうまくいっていない。 役割分担、市民、職員の意識を高める

	・ 全員に危機感がない。温度差をどう縮めるか。 ・ 条例の存在を知らなず、この委員会で知った「伝えよう」の思いが小さいのでは？ ・ 条例＝市民の声が反映されるためのもの。 うまく活かされると…職員も仕事が楽になるはず！ ③行政評価 ・ 条例に行政評価 ④自治振興会関係 ・ 自治内で OB の方 ・ なぜ、自分達がやらなきゃならないかという人が多い ・ 昔は自治でやっていた。40 年前よりおまかせ自治となっている。本来の住民自治を取り戻そう。 ⑤コーディネーター ・ 協働の実例を小さいことでもコツコツと市民に知らせる。 ・ 今まで協働でなかったことで「協働」で進めることやる！ ・ 「協働」を実行するためのコーディネーター（＝議員の仕事）が重要 これができないから、住民から立ち上げる。 ・ やっぱりコーディネーター ・ 具体的な目に見える事、コーディネーター（具体的な質） ・ 協働は田中市長から始まっているはず。道筋は条例でできた。 ２０年後の南砺市の姿を考えて ・ 推進会議が市役所をやる気にさせないと！ 【B グループ】発表内容 ①出資団体関係 ・ 見直しと評価 ②職員関係 ・ 地域に密着していない ・ 登用、昇格制度の明確化を ・ 条例の理解度は悪い。 ③自治振興会関係 ・ 女性の参加が少ない（発言しにくい） ・ ソフト面がない、話し合いが少ない ・ 提案 ・ 自治振興会が在るべき姿とは？ ・ 会の進むべきビジョンをもってほしい ・ 会のやり方をオープンにする（コーディネーターに相談？） ④コーディネーター ・ コーディネーターは地域を良く知り、まちづくりの意欲、能力の高い人を作り出す。

	・ コーディネーター　支援員と分離しての位置づけ ・ 地域リーダーの相談役がコーディネーターであるべきでは？ ・ 専門的なコーディネーター（←これが判らない） ・ 支援員が見えない ・ 支援員の役割、機能を明確化 ・ 支援員は誰で何人いるの？ ・ 「住民自治のまちづくり教室」の位置づけがわからない ・ 五十の手習い塾からコーディネーターを育成？ ・ コーディネーター養成講座、認定制度を！ ・ お金が出る出ないに関わらず、もらっている意思で出てこないか？ ・ 31 の自治振興会から最低一人の選出を！ 【C グループ】発表内容 ①支援員、コーディネータ ・ 支援員が誰か分からない ・ 支援員の存在の周知がされていない ・ 各種団体は支援員を利用する。 ・ 呼びたいコーディネーターが分からない。オススメの方は？ ・ 行政担当を呼べば来てくれる ②職員関係 ・ 地域に出てくるようになっている ・ 地域の事を理解していただくためも、引き続き、積極的に参加願いたい。 ④自治振興会関係 ・ 会長さんがわからない ・ 共有（情報がない） ・ 各種団体等に周知がされていない ・ 各団体は振興会の運営に参加できていない ・ 地域づくり交付金の決算書が公表されているか調べる。 以上各グループから発表
その他	副委員長が挨拶し、会議を閉じる。　　終了２１時００分